

# 公益社団法人日本技術士会 長野県支部 CPD 講演会・平成 27 年度合格祝賀会 開催報告

日 時 平成 28 年 3 月 26 日 (土) CPD 講演会 14:00~16:30  
合格祝賀会 16:30~18:30

会 場 ホテル信濃路 3 階「信濃」

講演会 演題 I

「長野県のものづくりを支える人材育成」～新たに開校する長野県南信工科短期大学の役割～  
長野県産業労働部参与 工学博士 大石修治 氏  
(信州大学名誉教授・前信州大学副学長・長野県南信工科短期大学校長予定者)

演題 II

「技術士にのぞまれるもの、長野県支部の目指すもの」  
長野県支部幹事 有賀良夫 氏(建設/総合技術管理部門)

演題 III

「私の合格体験記」

平成 27 年度試験合格者 剣持淳二 氏(二次試験 総合技術監理部門)

参加者 講演会 40 名 (合格者 20 名含む)  
祝賀会 32 名 (合格者 17 名含む)

講演会の演題 I では、平成 28 年 4 月に開校される長野県南信工科短期大学の初代校長(予定者)である大石先生が、「長野県のものづくりを支える人材教育」と題して、同校の概要や南信地域に開校される意義について講演されました(写真-1, 写真-2)。講演の後半では、先生が信州大学工学部時代に研究され、世界で初めて成功させた「人工ルビー(六方両錐)の抽出方法」について解説して頂きました。最後に、エノキタケ栽培に貢献した長谷川五作(旧制県立屋代中学校教諭)を例に、地域教育の重要性や長野県の魅力についてお話しがありました。先生は、静岡県のご出身ですが、参加者が知らない長野県の魅力を多数紹介して頂きました。

講演会の演題 II では、長野県支部幹事の有賀氏より、平成 27 年度試験合格者に向けて、「長野県支部設立の経緯や活動状況の紹介」と、「技術者倫理の歴史や必要とされる背景」について説明して頂きました。

講演会の演題 III では、平成 27 年度技術士二次試験合格者の剣持氏が、合格体験記を発表されました。受験の動機となった「公共事業における技術士資格の必要性」や、実際に行った「勉強方法の工夫」などの説明がありました。

技術士第一次・二次試験合格祝賀会では、合格者の自己紹介が行われ、合格者に今後の抱負や所属会社の紹介、普段行っている仕事について説明して頂きました(写真-3)。合格者や会員の活発な意見交換が行われ、実りある交流の場とすることができました(写真-4)。

